

授業科目名 <英訳>		観察疫学研究 Observational Epidemiology			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 福原 俊一				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 前期集中	曜時限	前期後半：金1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
近年、データベース研究が盛んとなり、観察疫学の重要性が増している。このコースは、社会健康医学領域の研究のうち、特に観察疫学研究の基本的な理論・知識を学ぶ。従ってこのコースには、介入研究は含まれない。											
[到達目標]											
1)さまざまな観察研究デザインの「型」の種類と特徴を理解している 2)それぞれのリサーチ・クエスチョンに最も適した観察デザイン研究の「型」を選ぶことができる 3)研究計画で設定された主要な変数の科学的な測定方法について理解している 4)観察疫学研究の解析に有用な方法を理解している											
[授業計画と内容]											
第1回 6月19日観察疫学研究の可能性（福原） 第2回 6月26日 観察疫学研究デザインの「型」の種類と特徴（大西） 第3回 7月3日観察疫学研究のデザインの「型」を選ぶ（大西） 第4回 7月10日調査研究の設計と実際（竹上） 第5回 7月24日測定尺度の開発と検証（総論）（岩田） 第6回 7月24日測定尺度の開発と検証（各論）（脇田） 第7回 8月7日(1限)傾向スコアの理論と実際（川村） 第8回 8月7日(2限)試験											
[履修要件]											
・ MPH選択・MCR必修 ・ 「疫学」を履修済み、または「疫学Ⅰ」を履修中であること、かつ「疫学Ⅱ」（MPHコア）を履修することを必須条件とします											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
・ 講義平常点(出席を含む) 40% ・ 筆記試験 60%											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 福原 俊一 『臨床研究の道標：7つのステップで学ぶ研究デザイン』（認定NPO法人 健康医療評価研究機構） Hulley S 『Designing Clinical Research 2nd ed.』（William & Wilkins）（和訳：臨床研究のデザイン 医学書院MYW）											
観察疫学研究 (2)へ続く ↓ ↓ ↓											

観察疫学研究 (2)

竹上 未紗, 福原 俊一 『誰も教えてくれなかったQOL活用法』 (認定NPO法人 健康医療評価研究機構)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

講義および討論
講義前・後の学習

(その他 (オフィスアワー等))

・人間健康科学系専攻学生の受講可否： 不可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。